リーディングDXスクール事業【実践事例】

大仙市立豊成小学校（秋田県）【指定校】

【取組内容】 児童の自己調整を支える学習シート・学びの手引きの工夫

単元内自由進度学習や複線型の学びを進める際に欠かせないのが、「学びの手引き」や「学習計画・振り返りツール」であると考えます。本校では、Excelや学習支援ソフトを活用して、単元を見通した学習計画を児童とともに作成した。1時間ごとのめあてや学び方を記したり、授業後の自らの学び方や理解度について振り返り、次時以降の学び方を工夫できるように促した。

下学年や年度当初の上学年では、課題解決のための方策をいくつか提示し、児童がそこから選択し、課題解決にあたるようにした。また、その学び方が適切だったのかを振り返ることを促した。学習に困難を抱えている児童にとって、他者参照をすることで、やるべきことが分かったり、友達の考えを参考にしたりできるため、学習に向かう意欲が向上が見られた。

【2/7時間目】 12月17日（火）

単元の学習課題 「想像力のスイッチを入れよう」を読んで、自分とメディアとの関わりについて、自分の考えを書こう。

本時	今日の課題 (B, A)	今日の学び方 (どうしたらMy Goalが達成できるか)	ノート (今日の学びの大切なこと)	振り返り (今日の学びがどうだったか？友達との学びは？)	文字数 (グラフ)	心 (マトリクス)	先生
課題⑤	友達と一緒に序論本論結論を簡単に2タイトルをつける。		序論と2タイトル「想像力のスイッチはどんなふうなスイッチか？」を2つに分けて書く。本論と2タイトル「想像力のスイッチをいれよう」と2タイトルをつける。		42	月	
課題⑤	特に段落は大切だと思うので、5人くらいで考えを確かめ合う。		1〜6段 7〜14段 15〜16段 17〜18段 19〜20段の5つの段落に分けて、想像力のスイッチをいれようというテーマで考えてみる。①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳	この人の説明は読んでいる分にはわかりやすいのに、序論などをまとめるのが難しいです。もしも序論をまとめることができればいいと思います。	76	太陽	
課題⑤	まず最初に観戦席をよもぎんについてなんとなぐてここが序論かな結論かなと考えてほかの友達と一緒に見合ったりする。			友達と一緒に読んで教えてもらったので友達と一緒に読むことができてよかった。次は、課題をクリアできるようにしたい。	68	月	
課題④	序論、本論、結論を分けて友達と確かめ合う。		序論は①〜⑥ ①〜⑥にした理由は、①に著者の主張が書いてあるから。本論は⑦〜⑱ ⑦〜⑱にした理由は、⑦にもとづくわくを説明しているから。	課題も、課題5をクリアできたのは次回は、課題4に挑戦したいです。	32	太陽	
課題⑤	序論、本論、結論をまとめてながらも、それぞれ1〜10までマーカーチームの事例に書いてあることを簡単にまとめる。		序論①〜⑥ 本論⑦〜⑱ 結論⑲⑳ マーカーチームの事例 読み手の学びかけ		64	太陽	

↑ 学習計画・振り返りシート

時習	C	D	E	F	G	H	I	J	K
	P42~60	P43~44	P45~46	P47~48	P32~34	P35~36	P37	P38	P39
	単元の大きな内容	事例①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳	平行四辺形の面積を計算できる	高さは何？ 平行四辺形の面積	三角形の面積の求め方 (2)	三角形の面積を計算できる	高さは何？ 三角形の面積	三角形の面積の求め方 (2)	三角形の面積を計算できる
1	分かった	分かった	分かった	分かった	分かった	分かった	分かった	分かった	分かった
2	分かった	分かった	分かった	分かった	分かった	分かった	分かった	分かった	分かった
3	分かった	分かった	分かった	分かった	分かった	分かった	分かった	分かった	分かった
4	分かった	分かった	分かった	分かった	分かった	分かった	分かった	分かった	分かった
5	分かった	分かった	分かった	分かった	分かった	分かった	分かった	分かった	分かった
6	分かった	分かった	分かった	分かった	分かった	分かった	分かった	分かった	分かった
7	分かった	分かった	分かった	分かった	分かった	分かった	分かった	分かった	分かった
8	分かった	分かった	分かった	分かった	分かった	分かった	分かった	分かった	分かった
9	分かった	分かった	分かった	分かった	分かった	分かった	分かった	分かった	分かった
10	分かった	分かった	分かった	分かった	分かった	分かった	分かった	分かった	分かった
11	分かった	分かった	分かった	分かった	分かった	分かった	分かった	分かった	分かった
12	分かった	分かった	分かった	分かった	分かった	分かった	分かった	分かった	分かった
13	分かった	分かった	分かった	分かった	分かった	分かった	分かった	分かった	分かった
14	分かった	分かった	分かった	分かった	分かった	分かった	分かった	分かった	分かった
15	分かった	分かった	分かった	分かった	分かった	分かった	分かった	分かった	分かった
16	分かった	分かった	分かった	分かった	分かった	分かった	分かった	分かった	分かった
17	分かった	分かった	分かった	分かった	分かった	分かった	分かった	分かった	分かった

聖徳太子が目指した天皇中心の国づくり

聖徳太子の死後、誰が、どのような国づくりを進めたのだろう。

いつ、誰が、力の強い豪族である蘇我氏を倒したのか？ その目的は？

大化の改新後、どのような政治が行われましたか？

聖徳太子の死後、蘇我氏が天皇をしのぐほどの勢力をもった。その様子を見た中大兄皇子と中臣鎌足（藤原鎌足）は、645年に蘇我氏をたおした。

大化の改新によって、中国の政治の制度を手本に、都から全国へ支配を広げていくくみを準備した。

中国にならって藤原京という日本で最初の本格的な都が奈良県につくられた。8世紀の初めには、法律ができ、人々は、租・調・庸（よう）といった税を納めた。

中国から帰国した留学生や留学僧らとともに、天皇を中心とする国づくりを始めた。

そして現代へ続く年号も初めて定められ、豪族が支配していた土地や人々は国のものになった。

税を納めるとともに、役所や寺を建てたり、都や九州を守る兵士の役を務めたりした。

← ↓ 学びの手引き

課題6

筆者が挙げた事例と、それに対する意見を整理しよう。

教科書P208の①を参考に、整理する。使ってください。

筆者はなぜ複数の事例を挙げたのか？ その効果を考えよう。

↓「事例無し」本文あります。使いたい人は使ってください。

次のことを、先生のチェックを受ける。

Aの人は、整理したものを。

Bの人は、Bに加え効果が書かれたものを。

評価のポイント

A【事例の効果】

- ・事例を挙げた理由と効果が具体的にわかる。(×「分かりやすい」)

B【事例と意見の整理】

- ・事例と意見が分かれているか。

↑ いまドコシート

今、どの内容を学習しているのかを見合うことができる。また児童の進捗状況について教師が把握できる。

児童が複数の方法の中から学び方を選択できるように、選択肢を示す。チェックポイントの観点を示し、児童が学ぶ道筋を示す。